

理科 (生物) 九州大学 理, 農, 医 (生命科学, 保健), 歯, 薬, 芸術工学部

<全体分析>

試験時間 75分

解答形式

選択・記述・論述

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

論述問題の問題数は8問から10問に増加し、総論述字数も610字から700字に増加した。

指定語句が与えられた空欄補充問題が多く出題された。昨年出題された計算問題は出題されなかった。

その他トピックス

〔3〕問2は2023冬期講習「九大生物」第3講3-2 問4とズバリの中。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
〔1〕	選択 記述 論述	光合成 細胞内共生説 重力屈性 CAM植物	生物基礎 生物	問1 オは「PGA」、キは「GAP」でもよいだろう。	やや易
〔2〕	選択 記述 論述	神経・反射 跳躍伝導 免疫	生物基礎 生物	問2 (b) グリア細胞の一種であるオリゴデンドロサイトが髄鞘を形成する。	標準
〔3〕	選択 記述 論述	中胚葉誘導 神経誘導 ショウジョウバエの前後軸 アポトーシス	生物	問1 (2) 生物種は「ヤモリ」ではなく「イモリ」だろう。AやCを単独で培養する対照実験にも触れておきたい。 問3 (2) 細胞死が周囲の細胞に及ぼす影響について説明する。	標準
〔4〕	選択 記述 論述	ラクトースオペロン 遺伝子組換え	生物	問2 (2) 遺伝子Xの方向性に注意する。	標準
〔5〕	選択 記述 論述	生物の進化 個体群 種間関係 生物濃縮 生態系サービス	生物基礎 生物	問3 (1) クは「捕食者」や「生物農薬」でもよいだろう。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

知識問題で、高校「生物」ではあまり学習しないような内容を問われることも多いので、図説などを用いて、細かい知識まで学習しておくとうい。また、実験結果をもとに考察・論述する問題が多く出題されるので、入試問題集を用いた演習により考察力を高めておきたい。論述問題対策として、50~100字程度の文章をまとめる練習をしておこう。